

2020 年春期語学研修プログラム レポート



工学部機械工学科 1 年

国：カナダ

研修先：CCEL

私は、約 2 週間カナダのバンクーバーで語学研修に参加しました。春期語学研修に参加した動機は、私自身、海外渡航の経験がなく、自分の英語力がどれだけ通用するのか知りたかった、英語中心の生活を体験してみたかったからです。英語力がどれだけ通用するのか知りたかったと言いましたが、私は今まで学校や塾の授業でしか英語を学んでこなかったため、正直自信はありませんでした。空港に到着しても何か聞かれたら一言返すくらいで、ホームステイ先でもなかなか自分から話すことができませんでした。しかし、日本で経験できなかったと感じたことは、歳の近い異国の友人を持つことです。日本でも小中学生から外国人の先生と英語で会話することはできますが、私自身生徒と先生という立場や年齢も近くないことから失敗したらどうしようなどマイナスなことを考えていました。カナダに着いてからもその思いが強かったのですが、一緒にホームステイをしていたブラジル出身の 3 人はみんなで食べる夕食時に積極的にホストファミリーにしゃべりかけ、また私にも英語でたくさん話しかけてくれました。私はその姿にとっても刺激を受けました。今日はどこに行ったのか、日本とカナダの気温差など、他愛もない話をし、自分の英語が通じたときはこれまでに味わったことのない嬉しさがありました。CCEL での授業もクラスメイトと話すのがメインで音楽の話や難しくなると国際問題についても話しました。

私はこの語学研修で最後まであきらめないことを身につけました。海外の友人は慣れない英語でも自分の思いを伝えたいという気持ちがとても表れていました。間違いを恐れていましたが、私も街で会ったら自分から話しかけるようになり、英語で話すことの楽しさが分かりました。また、簡単な英語でも伝わることも分かり、自分自身の英語で話すハードルもかなり下がりました。自分の思いをより正確に伝えることができるような国際交流、異文化交流ができるよう、英語の勉強を続けていきます。